

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">倫理学</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部日文1回生 文学部英米1回生 文学部コミ1回生 教育教福1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">池田 清</p>
<p>授業テーマ</p> <p>人権思想 環境倫理 生命倫理 情報倫理</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>「地球温暖化って何やろ」（環境倫理）、「安楽死って何やろ」（生命倫理）、「DVD コピーして、ええんやろか」（情報倫理）、これらは、身の回りで感じる疑問です。授業は、こうした疑問に関して、法律や、暗黙の了解の背後にあるルールを洗い出します。その際、基本になるのは、人権（＝幸福追求権）という考え方です。「自分の幸福って何やろ」という発想をベースにして、環境倫理、生命倫理、情報倫理について自分なりの考え方をもつことが、授業の内容であり、目標です。</p>		
<p>評価方法</p> <p>出席、レポート、本試験から総合的に評価します。</p>		
<p>テキスト</p> <p>テキストは使用しません。適宜資料を配布しますが、講義ノート中心です。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>授業中、その都度指示します。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>1 倫理学史 「幸福って何?」「(正しい) 行動って何?」「社会のルールって何?」</p> <p>2 応用倫理学の誕生 「環境倫理って何?」「生命倫理って何?」「情報倫理って何?」</p> <p>3 生命倫理の誕生とその現在 「死ぬってどういうこと?」「子供を産むってどういうこと?」「医者と患者の関係って何?」</p> <p>4 環境倫理の誕生とその現在 「自然保護って何?」「みんなが幸福になれるのなら、少しぐらいの犠牲はしようがないの?」 「(私はしようがないけど、子供や孫のことを考えると) ってどういうこと?」</p> <p>5 情報倫理の誕生とその現在 「新聞と IT ってどう違うの?」「PC って何が出来るの?」「プライバシーの侵害って何?」</p> <p>◎倫理学は、決して堅苦しい道徳ではありません。身の回りで起きていることに対して、普段は「それ、当たり前やん」と思っていますが、「そやけど、(当たり前) って、何で思うたんやろ?」と自問したとき、既に倫理学の入り口に立っているのです。「何で、優先座席で、おばあちゃんに席譲らなあかんねん」、「何で、人殺したらアカンねん」など、自分が知らない内にいつの間にか心にインプットされたルール・マナー・作法などに関して、「何で?」と疑問をもち、「みんなも(当たり前)と思うてるんやろか」、「(当たり前) って思うのは、みんなにとっても(良いこと)何やろか」など自問するのなら、倫理学に既に足を踏み入れています。</p> <p>授業では、環境問題や医療問題などを扱いますが、皆さんを倫理学に誘うために、また学習したことを整理するために、二回に一回は授業中に 30 分程度の時間をとってレポートを書いてもらいます。</p> <p>倫理学の授業を有意義で面白いものにするために、気楽に、しかも積極的に授業に参加して下さい。</p>		